



教会だより ミルトス

ミルトスは、水がなくても育つ強い木であることから不死のイメージがあり、祝福と繁栄の象徴の木とされている。

日本バプテスト教会連合
八千代キリスト教会

牧師 小林政和

八千代市大和田新田 94-77

Tel:047-450-1536・Fax:047-473-3925

Eメール: gpnng725@gmail.com

郵便振替: 00190-4-554373

今年のみ言葉「私たちすべてのために」

私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか。(ローマ書8章32節)

どなたでも ご自由にお入り下さい。お待ちしております。
日曜日・午前10時30分・礼拝
水曜日・午後1時30分・祈禱会

「二人の日本人のノーベル賞受賞に思う」

牧師 小林 政和

今年のノーベル賞に2人の日本人研究者の受賞が決まった。大阪大学の坂口志文特任教授が生理学・医学賞、京都大学の北川進特任教授が化学賞に輝いた。

免疫がないと困るが、強すぎると自分自身の体を攻撃する自己免疫疾患を引き起こす。坂口教授はこの病気が普段生じないのは、過度の免疫を抑える仕組みがあるためだと提唱した。その役割を担う「制御性T細胞」を地道な研究で発見し、ガンや自己免疫疾患など新たな治療法の道を開いた。当初は異端の学説として評価されず、自説を科学的に証明するのに20年、ノーベル賞受賞まで約40年かかった。

一方、北川教授は微細な穴を無数に持ち、気体の貯蔵などに役立つ次世代の多孔性材料、「金属有機構造体(MOF)」の開発が評価された。開発した物質は均一な穴が規則正しく開いており、穴のサイズは自在に設計できる。複数の物質が混在するガスから、狙った物質だけを穴に吸収させ、分離や貯蔵が可能となる。「温室効果ガスの二酸化炭素を低コストで吸着・除去できれば、地球温暖化対策にも大きく進む可能性がある」と言われている。各新聞・マスコミ等は今回の快挙を讃える一方で、お二人の要望でもあり(祝福の電話のあった文部科学大臣に、直ぐに若手研究者への待遇改善を要望された)、短期間で成果を求められる近年の日本の研究環境に憂慮していることを意味している。二人の要望は危機感の裏返しとも言える。短期の成果を求められる現状において、基礎研究には、息の長い支援が必要である。二人の受賞者が述べる共通な言葉に「運・鈍・根」があげられる。新しい発見には運(良い出会い・好機)があったと言われている。それを開発するのに「根」がいることは分かる。二人には、「鈍」に徹したところが共通する。頑固なほどに自分のテーマに拘り、時代の趨勢に押し流されない「鈍」が必要だと言う。北川教授がパスツールの言葉「幸運は準備された心に宿る」を引用されたのも説得力がある。坂口教授の座右の銘は「一つ一つ」であり、北川教授は老荘思想の「無用に用」(役に立たないように見えるものも、実に役立つ)と言う考え方がある。北川教授は「科学の対象は物質、つまり原子や分子が詰まったものに向うが、私は何もない穴に着目した。読書体験を通じて何もないものに意味があるという見方に、とても大きな影響を受けた。穴と考えると無用なるが、逆にその穴に原子や分子を入れたり変えたりすると役に立つ」と語っている。私たちの信仰の道も似たようなことがあり、うなづける。



10月9日(木) 野崎宅家庭集会

野崎姉は先月龍ヶ崎市から八千代市内に引っ越してきました。今回は八千代市での第1回目の集会でした。実りある豊かな集会になったことを感謝します。



10月13日(月) 東京基督教大学のシオン祭に参加

昨年に続きシオン祭に参加してきました。チャペルでのコンサートを聴き、お昼のおにぎりを食べ、校内を見学して、帰途に着きました(下橋)

10月12日(日) 小林牧師はクロスロード教会へ

10月12日に、相模原市にあるクロスロード教会の礼拝に出席させて頂きました。2年前に車椅子で20歳を迎えられた中野先生ご夫妻の長男の友哉君に再会できて幸いでした。友哉君を中心に記念撮影の後、二組の家族が残って下さり、牧師夫人の手作りのおいしいカレーと一緒に頂戴しながら交わりをさせていただきました。この教会には子供さんたちが多いのに驚きました。二組とも4人のお子さまをお持ちで、大人の礼拝が始まる前に、CS礼拝に出席されていたようでした。11月には、小学3年生の男の子が洗礼を受けるそうですが、これからはご両親と教会が、その子の成長のため祈りつつ育まれるのだらうと思いました。(小林)



メンバー紹介

「聖書に頼る日々」

中溝 玄

私は1971年(昭和46)1月12日に東京都国立市に生まれました。2歳の時に現在の八千代市に引っ越してきました。もう50年になります。母もその頃に洗礼を受けました。母は近所の吉井さん宅に、東京の教会の牧師先生が家庭集会をやっておられたので、同じ教会の若林さんと共に、参加していました。

当時私は信仰こそなかったのですが、クリスマス会や子供の集会などには参加し、キャンプ等にも行きましたが、小学校1年から剣道をやり始め、日曜日にはなかなか教会には通えませんでした。教会との繋りはありませんでした。2000年からは、こちらの八千代キリスト教会に時々伺うようになりましたが、仕事の関係で日曜日の休みの時だけに礼拝に参加していました。

2011年7月に、7年程務めていたタクシー会社を辞め、大型免許を取るために教習所に通いました。取得後現在勤務している千葉中央バス(株)に入社しました。2013年頃から路線バスの昇格を願い、祈祷会に出席するようになり、この頃から少しずつ聖書を読むようになり、また「聖書のこよみ」等も見ようになってから、聖書のことも少しずつ分かるようになってきました。自分用の聖書も購入しました。この頃からは献金を欠かさないようになりました。

2016年千葉パルコ閉店と共にパルコバスの運行も終了し、翌年4月からようやく念願の路線乗合へ移行しました。パートから準社員になり小型バスを運転、2018年には中型バス、2019年には大型バスへ、同時に正社員になりました。

マタイ6:25～34、マタイ8:28～34、ヨハネ14:1～4、コリントⅠ13:1～13、ローマ12:1～21、詩篇41、42、等は毎日必ず読んでいます(献金同様、これを読まなければうまく事が運ばないのです)。2021年からは小林先生の勧めで「ディリーブレッド」を読み始め、こちらも毎日欠かさず読んでいます。

これまで何度か洗礼の事を考えましたが、不安や疑問が多く、なかなか踏み出せなかったのです。2024年2月18日(日)に先生の勧め、後押しにより、洗礼を受けることができました。何かと未熟者の私で時間もかかるかと思いますが、できるだけ皆様のように一人前のクリスチャンになろうと頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。



教会及び連合のスケジュール(予定)

09月08日(月) 10:30東京地区牧師会、19:30東京地区連合委員会
09月16日(火) 龍ヶ崎(野崎姉)家庭集会
09月21日(日) 創立29周年記念
10月05日(日) 10月運営委員会
10月16日(木) 横田早紀江姉を囲む祈り会
10月19日(日) 聖餐式
10月26日(日) ミルトス57号発行・発送
11月03日(月)～04日(火)連合2026年度予算総会
11月09日(日) 召天者合同記念会、ラザロ霊園墓前礼拝
11月30日(日) アドベント第一、ミルトス58号発行・発送
12月21日(日) クリスマス礼拝・祝会
12月24日(水) クリスマス・イブ礼拝
12月28日(日) 本年最後の礼拝、ミルトス59号発行・発送

祈って下さい

- 1)「バプテスト教会連合54教会の祈祷課題」が、み心にそって実現しますように
- 2)横田めぐみさんはじめ拉致被害者の方々が、早く家族のもとに帰れるように
- 3)ロシア軍に侵攻されているウクライナに、平和が回復するように
- 4)イスラエルとパレスチナのハマスとの間に停戦合意ができ、イランとの間に戦争にならないように
- 5)三郷教会の大澤美保夫人の、抗がん剤治療が副作用なく用いられ、健康が回復できますように
- 6)カナダ旅行をしていらっしゃる吉田照子姉が、10月25日に無事帰国されますように
- 7)洗礼を受けられた「八木明子」姉の信仰の成長のために
- 8)成田のグループ・ホームにいる安藤真大兄の健康が回復できるリハビリが、見つかりますように

3 分間講座

ゴスペル「ジェリコの戦い」ヨシュア記6章から

神の指示に従いユダヤ人をエジプトから脱出させたモーセは、約束の地カナンに何人かの密偵を送ります。敵の様子をつかんだ何人かの密偵はカナンの攻略はかなり難しいと報告、しかし密偵のひとりヨシュア(ジョシュア)は、「カナンは素晴らしい土地で、神の御心に従うなら、主は我々を乳と蜜の流れるあの土地へ導いてくださる。その住民を恐れてはならない」と語ったのです。モーセの死後、ユダヤの民を守る指導者となったヨシュアは、ヨルダン川を渡り切りカナンの街ジェリコ(エリコ)の攻略に向かいます。ジェリコは外敵(ユダヤ人など)の侵入を防ぐため、堅固な城壁で囲まれていました。神はヨシュアに「雄羊の角笛(ラッパ)を持ち、契約の箱を先導させて6日間街を一周せよ。7日目には街を7周し角笛を吹き鳴らせ。そして皆で関の声をあげよ。すると障壁は崩れ去る」と告げたのです。こうしたことからヨシュアはジェリコの攻略に成功します(ヨシュア記6:20)。堅城鉄壁と思われていた城壁すらも、神の力の前では実に脆いものでした。これが有名な黒人霊歌「ジェリコの戦い」の歌詞の背景です。

その歌詞では、ミディアン人の脅威からイスラエル人を救った士師ギデオン、イスラエル王国の初代国王で、アンモン人の侵攻に立ち向かった英雄サウルの勇猛果敢さも、ヨシュアの知力、武力、政治力には及ばないと、黒人霊歌固有の弾んだリズムに乗せて彼の偉大さを称えています。1960年代にはテナーサクソスの父コールマン・ホーキンスの奏でるこの曲の音色がジャズの世界を刺激、日本ではコーラスグループ「デューク・エイセス」の歌声で知られています。ちなみにジェリコは、死海に注ぐヨルダン川の河口から15kmほど北西の海拔マイナス250mの低地にあり、9000年も前から存在する世界最古の街だといえます。現在はイスラエル領の土地です。(池田)



「モーセとカナンからの使者」ジョバンニ・ランフランコ作 1621～24年

編集後記:高齢者の健康で注意することは、食事と運動と言われています。食事は腹八分目、良質のたんぱく質と野菜果物をしっかり採る事です。とかく口当たりの良い物はほとんどが炭水化物です。食べ過ぎの肥満は大敵です。運動は程よいストレッチ、速足での散歩が効果的です。あとは「主」に委ね、祈りましょう。イライラしないでゆったり過ごすことです。(下橋)